

安全・安定消費者交流会の開催

平成15年度より実施しております「畜産物安全・安定供給相互理解体制推進事業」が今年度で終了となります。今まで培ってきた消費者や学校関係者などとの信頼関係をより一層深めるため、今年度は消費者交流会・研修会（3ヵ所）を開催いたしました。なお、最終年度の総括としての全体委員会を2月頃に開催する予定です。

1) 阿賀野市「生乳生産農場並びに乳製品加工施設視察研修会」(11月10日)

県内酪農発祥の地であります旧安田町にて生産現場等の見学を含めた研修会を行いました。(南)ヤスタヨーグルトの工場見学では、洗浄・殺菌の徹底により、衛生的なラインを保てることなどを説明していただきました。(南)あじさい野牧場では、殺菌プログラムや異物混入の防止に特に注意していることを消費者にアピールしました。



南ヤスタヨーグルト工場見学



南あじさい野牧場のフリーストール

2) 胎内市「北蒲原地域交流会」(11月18日)

旧黒川村の畜産物加工施設と畜産団地の見学を含めた交流会を行いました。牛乳、チーズ、ハム・ソーセージの各加工施設見学、胎内畜産団地概要説明の後、村上牛生産者の河内松雄氏の経営を紹介しました。その中で、実際に河内氏の牛舎で飼養されている牛の個体識別番号を使って、トレーサビリティシステムについての解説を行いました。



北蒲原地域交流会の様子

3) 村上市「村上地域交流会」(12月1日)

村上牛生産者の漆間平氏の経営紹介等を行いました。こだわりを持ったエサ(村上牛配合)で愛情たっぷりに育てていること、牛にとって快適な環境にするように努めていることなどを話されました。



村上牛配合について説明する漆間氏

各交流会・研修会ともに、生産者と畜産関係者が様々な努力をして安全・安心な畜産物を生産していることを消費者の皆様へPRすることができたと感じております。

地域畜産ふれあい体験交流推進事業 の実施について

平成17年度から平成19年度までの3ヵ年事業として、地域畜産ふれあい体験交流推進事業への取り組みを開始しました。

事業内容は、畜産生産現場において消費者が飼養管理作業等の実体験を行う体験交流や県産畜産物を利用した加工調理体験教室を通じて、消費者に畜産の果たす役割や県産畜産物を理解してもらう目的で実施するものです。

本年は、後藤牧場（酪農経営）と県畜産研究センターの2ヵ所で体験交流会を実施しましたが、その概要は次のとおりです。

1) 後藤牧場（新潟市：酪農経営）

一般公募を行った消費者親子19組41名を対象として11月12日に、ペットボトルを利用したバター作り体験や牛舎内での搾乳体験、哺乳体験、給餌体験等を実施しました。バター作り体験では、生乳からバターが出来る過程を研修した後、生クリームを利用したバター作りに参加者全員が15分程で成功し、昼食時にパンに塗って試食し、手作りの味を楽しみました。また、搾乳体験等では牛に初めて触る子供もいましたが、経営主の後藤由博さんから酪農の作業について話を聞いた後、積極的に搾乳や哺乳作業に挑戦し、酪農の仕事や牛乳が出来るまでの過程を自分で実際に体験し理解を深めました。

2) 県畜産研究センター（三条市）

県畜産研究センターが、一般県民に施設を開放して研究成果等の展示を行う催しと連携して、畜産体験交流イベントを10月1日に開催しました。

体験交流イベント内容は、搾乳体験、バター作り体験、家畜とのふれあい体験を実施しました。当日は、あいにくの雨模様となりましたが、親子連れや地域のグループ等の団体など、約500名が訪れて様々なイベントに挑戦しました。特に当日は、保育園児等比較的小さな子供が多かったこともあり、ふだん接することのない子豚、子やぎ、にいがた地鶏のひよこ、うさぎを展示した家畜とのふれあい広場の人気が高く、終日、賑わいを見せ、意義のある1日となりました。



バター作り



搾乳ミルカーの吸引体験（後藤牧場）



搾乳体験



家畜とのふれあい（畜産研究センター）